

緑の相談

Q & A

**Q** ヒヤシンスを水栽培で育てると球根が腐ってしまいます。球根が腐らない方法と栽培について教えてください。



**A** ヒヤシンスの栽培のポイントは、2つあります。

1つ目は、「寒さに当てること」です。ヒヤシンスは、一定の低温に当てないと花を咲かせません。また、花芽がついても茎が伸びず、株元で花を咲かせてしまうことがあります。水栽培で育てる場合も12月くらいまでは

外や寒い場所で管理して、しっかり寒さに当ててから室内に取り込みます。

2つ目は、「容器の水」です。球根を腐らせないために根が出てきたら少しずつ水を減らしていきます。これは、呼吸をしている根の根腐れを防ぐためです。また、汚れた水は球根が腐ったり、カビが生えたりする原因となるので、1、2週間に一度水を替えます。

ヒヤシンスの生育

根は水栽培をはじめて1〜2週間で出はじめます。暗い、寒い場所で管理します。



5週目になると根が伸び、芽も少しずつ伸びてきます。芽が出はじめてきたら、日光の当たる場所へ移動します。



その後は、どんどん根と芽を伸ばしていきます。茎に蕾が付きはじめるともうすぐ花が咲きます。花はどんどん咲いてくるので、しおれた花は手で摘み取りましょう。



(那須野が原公園緑の相談所)

コレやってみよう！

## 苔テラリウムに挑戦！

最近、「苔テラリウム」が人気になっています。テラリウムとは、ガラス容器などの中で植物を栽培することです。

日陰や半日陰を好む苔を用いることで、室内でも楽しむことができます。瓶に直接土を入れて作る方法もありますが、今回は管理しやすいように苔玉をつくって瓶に入れます。

### 材料・道具

- 苔（コウヤノマンネングサ・ホソバオキナゴケ・ヒツジゴケ・コツボゴケ）
  - ケト土
  - ピンセット
  - 瓶
- テラリウムの装飾品（ファイギュアなど）



### つくり方

#### ① 苔玉をつくる

ケト土を丸め、コウヤノマンネングサを植え込みます。その後、ケト土のまわりをしっかりと苔で覆います。



#### ② 瓶の中に苔玉を入れ、装飾品を飾る

好みでファイギュアなどを置いて、飾りつけをします。



### 完成後の管理方法

霧吹きで苔を湿らせ、直射日光の当たらない場所で管理をします。苔が伸びてきたり、瓶に汚れが付いた時は、苔玉を瓶から出し、伸びすぎた苔や茶色になってしまった苔をハサミで切り取ります。



（那須野が原公園緑の相談所）